

令和8年度 木造住宅の「無料耐震診断」「耐震化工事」補助制度

令和8年4月1日 現在

無料耐震診断

診断内容

耐震精密診断が**無料**で受けられます。(対象となる住宅は以下のとおり)

[1] 耐震診断の対象となる住宅(次のいずれにも該当するもの)

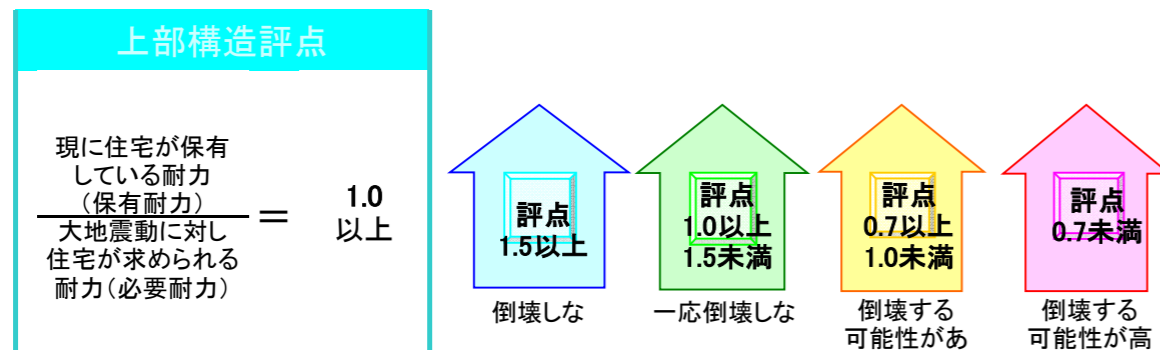
- ① 木造在来工法で建築された住宅
(ツーバイフォーや伝統的工法によるもの、また部分的に鉄骨造等は対象外)
- ② 昭和56年5月31日以前に着工された住宅
※完成後に増改築されている場合は別途お問合せください
- ③ 個人が所有する住宅
※長屋や共同住宅は対象外
※店舗等併用住宅の場合、店舗等床面積が延床面積の1/2未満であること

[2] 診断内容

- ① 市が派遣する診断士が精密診断を行い、耐震性能を判定(点数で明示)します
- ② 診断の結果、補強が必要と判定された場合、その工事方法等について診断士より提案、助言を行います。これに基づき補強工事を検討ください(改めて工務店等に相談ください)

診断結果について

耐震診断士が建物の耐震性能を数値であらわしたものを「評点」といいます。
この評点が1.0未満の建物は、大きな地震の際に倒壊する可能性があるといわれています。



耐震改修工事への補助

[1] 補助要件

- ① 精密診断の結果が総合評点**1.0**未満の木造住宅で、耐震改修工事(補強工事、建替え工事、除却工事のみのいずれか)を行うこと。なお補強工事の場合は「総合評点が**0.7**以上」となり、かつ「工事前の評点を上回る」工事となること。
- ② 昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅
※完成後に増改築されている場合は別途お問合せください
- ③ 耐震補強工事の場合、補強工事箇所が他の補助を受けないもの
- ④ 補助金の交付決定後に工事契約を行うもの
- ⑤ 市税等を滞納していないもの
- ⑥ 収入金額が以下のもの
・給与所得のみ……収入金額が1,442万円以下
・その他の方……所得金額が1,200万円以下
- ⑦ 実績報告が令和8年2月末までに提出されること

【注意】

- ・補強工事にあわせて行うリフォーム工事費用は補助対象外
- ・建替え工事の補助は、既存住宅(附属物を含み)全て解体を行い、建替え位置が従前の敷地にかかること、かつ土砂災害特別警戒区域外で建築物エネルギー消費性能基準(省エネ基準)に適合する住宅であること
- ・建替え工事の補助は、令和7年度から補助対象外となります。

[2] 補助率(下記工事のいずれか、併用は不可)

- 補強工事 工事費の4/5以内(限度額140万円)
- 除却工事のみ 工事費の1/2以内(限度額97.8万円)

【例：補強工事費175万円の場合】
175万円 × 4/5 = 140万円

【例：除却工事費195.6万円の場合】
195.6万円 × 1/2 = 97.8万円

[3] その他 令和8年度に長野県による補助金の上乗せ(最大50万円)があります

- 補助額 耐震改修に要する費用 - 飯山市の補助額 ※詳しくは別紙長野県のチラシをご覧ください
- 対象になる方(以下の両方に該当する方)
- (1)住宅の耐震改修について市町村による補助の交付決定を受けた方
- (2)対象住宅における耐震改修後の総合評点補助が1.0以上となる方

【例：補強工事費150万円の場合】
150万円 - 100万円 = 50万円

【例：補強工事費100万円の場合】
100万円 - 80万円 = 20万円

申請期限

申請期限……令和8年10月30日(金)

お問い合わせ

お問い合わせ先・申請先

飯山市役所 移住定住推進課 住宅係
電話 0269-67-0740